

けいせん

# 議会だより

第18号

JR向日町駅は、国土交通省のバリアフリー整備事業に基づき、JR主導でバリアフリー化しました。

東口からの乗り入れのため自由通路も施工したかったが、自由通路は市が主導なので負担が大きく、今後の検討課題ということでした。

(桂川駅は駅舎改築と自由通路の設計業務に着手。)

## JR向日町駅改修

(京都府向日市)



JR向日町駅にて

## 議員研修(報告)

### 京都府向日市・京都市

平成29年10月24日から26日にかけて視察した京都の研修結果について、ご報告いたします。



出土品の様子

昭和9年に発見された王塚古墳は、現存するすべての出土品が国の重要文化財に指定されました。

現在、100点を超える重要文化財は京都国立博物館で大切に保管され、劣化を最小限におさえられていました。

## 京都国立博物館

(京都府京都市)



向日市文化資料館の様子

## 向日市歴史まちづくり

向日市のまちづくりの柱である長岡京の情報発信として、バスや駅での啓発アナウンス・PR動画作成・立体映像による体験など、市民だけでなく学校現場での周知活動などにも力を注いでいました。

# 委員会活動報告

## 飯塚市議会の

### ペーパーレス化を視察

11月17日、桂川町議会議員9名と副町長・議会議務課長・企画財政課長・議会事務局長の計13名で飯塚市議会のペーパーレス化の実施状況を視察研修しました。



ペーパーレス研修の様子

## 桂川町消防団の

### 年末夜警を巡視

12月26日(火)に町内16カ所で行われた桂川町消防団による年末夜警を、議長団と総務経済建設委員が激励しました。



年末夜警を巡視

# 一般質問



林 英明議員

## 西鉄バス撤退について

**問** 西鉄より平成30年10月1日で、桂川町内の西鉄バスを全て廃止するという申し出があった。その後の状況を伺いたい。

**答(井上町長)** 12月中に西鉄側から、具体的提案が出される事になっている。経営上の赤字問題に加え、運転手不足から生じる継続の困難さが提起されているが、住民に多大な影響を与える事案であり、存続に向けた協議を積極的に行っていきたい。

**問** 交渉ごとは、お互い妥協できるところは妥協して、ウインウインの関係を築くことが、一番長続きする事と思う。いい方向へ行けるよう、県の力を借りながら、存続に向けて協議を進めて頂きたい。

12月定例会で次の議員が一般質問しました

## ペーパーレス化について

**問** 28年嘉麻市議会・29年飯塚市議会において、執行部と議会とペーパーレス化の視察研修をさせてもらった。感想を伺いたい。

**答(森山副町長)** 議会・執行部で切磋琢磨する姿勢に感銘し、同時に「住民の福祉の増進」に向けた意識共有の大切さを感じた。

**答(弓削総務課長)** 議会活動の活性化と利便性の向上、それに議会運営の効率化が図れる。

**答(山邊企画財政課長)** ペーパーレス化は避けては通れない。費用対効果が期待できる。

**問** 議員の活性化のため、議員の利便性向上のため、執行部・議会事務局の負担軽減のため、ペーパーレス化をとりいれるよう要望する。なお議員は全員賛成している。

**答(町長)** 実施効果・費用・導入スケジュール・職員体制等を考慮し、予算計上する方針で内容

の検討をしたい。

**問** どのような職員体制ですか、輪郭だけでも伺いたい。

**答**(町長) ペーパーレス化や今とくりくんでいる各事業の推進のためにも、森山副町長に来年度も引き続き勤めて頂きたいと考えている。

**問** 森山副町長が残ってくれるのであれば、桂川町としてもありがたい。来年度はペーパーレス化を新たな議会改革にしたい。



吉川紀代子議員

### 若い世代の支援について

**問** 現在、嘉穂総合高校の在校生450人中約200人強の生徒が、自転車や徒歩で通学をしている。学校周辺は街灯や安全な歩道が少ない。部活後の生徒は、暗い夜道を一人で帰らなくてはいけない状況で大変危険だと思ふ。見解を求める。

**答**(三削総務課長) 街灯については夜間通行者の状況等を把握するとともに、区長及び関係者との協議も含め、検討したい。

**答**(原中建設事業課長) 現在、豆田稲築線の歩道整備については、家屋が隣接する区間や墓地等において、路側帯をグリーン色で周知する安全対策をおこなっている。

### 通学定期補助について

**問** 通学定期の助成は人口の流失を防ぎ、定住促進にも繋がる施策である。答弁を求める。

**答**(井上町長) 6月議会、9月議会でも回答したように実施する予定はない。

### 西鉄バス廃止について

**問** 西鉄バス廃止の協議内容を、住民に知らせるための説明会を開催してはどうか。

**答**(町長) 西鉄バス路線廃止の対応については西鉄側から廃止の申し出を受け、桂川町・飯塚市・嘉麻市・県による対策協議や、西鉄も交えての協議も行って来

た。11月20日、西鉄側から協議を進めるための具体的な提案を12月中にすると言う回答がされたので、存続に向けた協議を更に進めて行きたい。

### 国民健康保険税の

### 引き下げについて

**問** 国保会計は適切な国庫負担なしでは成り立たない医療保険だ。国は国保に対する国としての責任を次々と後退させ、その結果国保の財政難と国保税の高騰を招き住民の健康と命を脅かしている。本町には、約7億3千万円の財政調整基金があるので、この基金を活用し国保税の軽減を求める。そして国に対して更なる国庫負担を要求すべきである。

**答**(町長) 国保会計は、医療給付等の必要な支出を保険税や公費などで賄い、単年度収支の均衡を図ることが重要とされている。

**答**(横山保険環境課長) 国保の財源不足を法定外繰り入れて補填し続けることは、他の施策に影響を及ぼすことが考えられるので現在のままで行きたいと考



大塚和佳議員

### 教育施設のエアコン設置と トイレ改修について

**問** 子どもたちの健康管理を考え、9月議会で再度エアコン設置の質問をした。回答は、国の交付金対象として事業計画を提出しているとのことだったが、その後の進捗状況は。

**答**(井上町長) 10月に小中学校全体のエアコン設置とトイレ改修の要望書を国へ提出。補助率は3分の1。導入方法や優先順位等については、財源確保を考慮する必要がある、国の動向を見ながら検討したい。

**問** 9月議会で、再度トイレ改修の質問をした。回答は、改修内容や方法を含め財源確保等の課題を整理し、改修に向け計画的に進めたいとのことだった。今回も財源確保が出来なければ実施しないとの回答だが。

**答(町長)** まず財源確保に努力をしているところだ。

### 児童保育所について

**問** 照明について9月議会で質問したが。

**答(町長)** 部屋の照明だけでなく、壁・ステージ・トイレ等も含めて改修したい。町負担は6分の1だが、来年度の負担割合は示されていない。

**問** 近年、利用者が増えているが、今後の教室は。

**答(町長)** 将来を見据え今後の課題として、早急に増築を検討したいと思っている。平成12年建設した既存の児童保育所(桂川小)の工事請負費は約31,135千円。

**問** 指導員の賃金や待遇改善は。

**答(町長)** 近隣の状況や現状を精査し、円滑に運営するための方策等を検討したい。

### 平成30年度からの国民健康保険について

**問** 制度の変更は。

**答(横山保険環境課長)** 内容等に変更はないが、新規に①保険証のカード化 ②高額療養費の回数該当が県単位で通算 ③国保税は県が責任主体となり、3カ年の激変緩和措置を予定しているため、大きな変更はない。

**答(町長)** 今後は医療費の適正化を図っていくが、制度自体の大きな変更はない。

### 地域包括ケアシステムについて

**問** 現行の対策は。

**答(江藤健康福祉課長)** 国の指針に基づいた、介護予防・認知症対策(7事業)を実施。

**問** 今後の対策は。

**答(町長)** 来年度関係は承知していないので、答えられない。



杉村明彦議員

### 申請主義について

**問** 福祉サービスは、どの時点で対象者に情報がいくのか。

**答(江藤健康福祉課長)** 医師または病院スタッフより必ずアドバイス・指導がある。健康福祉課の窓口では、障がいをお持ちの皆様へ各種福祉サービス・制度の説明をしている。また本人が必要とされているサービスや支援内容を聞き、障がい者手帳の内容に応じ、サービスの申請方法の説明をしている。(自立支援医療・補装具の交付・NHK放送受信料の減免・有料道路ETCの割引等)

**問** 児童手当の現況届の目的を問う。

**答(坂井住民課長)** 現況届は、児童手当を受けている人の毎年6月1日の状況を把握し、6月分以降の手当を引き続き受ける要件を満たしているかどうかを確認するもので、児童手当法施行規則で、毎年6月に市町村長に提出しなければならないと規定されている。

### のら猫対策について

**問** あすなる猫不妊・去勢手術支援事業の概要を問う。

**答(横山保険環境課長)** 猫の繁殖問題を改善するために、福岡県獣医師会が主体となり、協力獣医師と県民ボランティアが連携し、飼い主のいない猫への、不妊・去勢手術費用の支援を行うもので、費用はメス1匹10,800円・オス1匹5,400円となっており、通常の手術費用よりも、低額となっている。

**問** 桂川町でも募金に協力できないのか。

**答(井上町長)** この事業の大部分は、県民ボランティアからの募金で成り立っている。桂川町として、直接的な募金は難しいと思う。町の対応としては、広報等を活用して啓発に努めることが最善だと考える。募金箱の設置については、今後の課題にさせて頂きたい。

### 将棋サークルについて

**問** 将棋のサークルを作ってもらいたい。

**答(町長)** 熱心な方の具体的な要望等を出して頂き、講座や教室等の開催について検討していきたい。



藤川正恭議員

保育園運営について

問 「人づくりの改革」の柱となる幼児教育無償化は、平成32年4月から全面的に実施される。しかも緊急性が高いことから一部の政策は前倒しの可能性もある。そうなれば当然預ける人が増え保育士が足りなくなる。桂川町としての対応を考えているのか。

答(秦 子育て支援課長) 全国的に保育士が不足する中、本町においても新規保育士確保に向け最善の効果が得られる様に、現在検討している。

問 嘉麻市が私立保育園職員待遇改善事業補助金制度(一保育園につき百万円の補助金交付)を本年4月から導入。飯塚市は①保育士として働いている方に、生活資金の貸し付けを月額2万円、最大3年間貸し付けて5年間勤務を続ければ返還が全額免除になる。また②保育士養成施設に在学している飯塚市在住の方で、将来飯

塚市内の私立保育所等に常勤保育士として勤務する意思のある方に月額5万円を貸し付け、卒業後に5年間勤務すると返還が全額免除される等①②の制度を導入。以上の事から嘉麻市の補助金・飯塚市の貸し付け等、この市町村も保育士確保にあらゆる策をとって遅れを取らないようにやっている。本町でも指をくわえて見ているといった状態ではないと思う。障がい児加算の割合変更についても考慮して欲しい。このような状況で何ら策を講じないという事は、策を講じる必要があるのに講じない「不作為の罪」を指摘されても仕方がないのではないか。

答(子育て支援課長) 保育士確保について現在具体策を検討協議している。障がい児加算の割合も今後の課題にさせて頂きたい。

幼稚園・保育士職員の採用について

問 「広報けいせん」では、受験資格の年齢制限が25才未満となっている。飯塚市は35才未満だ。また、短期の臨時職員に対し何らかの政策ができないか。これらが保育士の確保につながるのではないか。

答(弓削総務課長) 職員の補充については、採用要件及び年齢構成等の検討を行い、人員の確保に努めていきたい。



竹本慶吉議員

信号機の設置について

問 朝夕の通勤通学時間帯に交通量が増加し、事故発生危険性が増大している。土師4バス停付近三又路に信号機の新設を願いたい。

答(原中建設事業課長) 信号機の設置は、福岡県警本部が管轄している。信号機を設置するにあたっての条件等を調査の上、設置要望を検討していきたい。

通常土木の予算確保について

問 道路については付託案件として継続審査を行っているが、桂川駅周辺整備事業と並行しているため、通常土木の予算を圧迫している。毎年継続している通常土

木の予算を安定的に確保してほしい。

答(建設事業課長) 平成25年度から道路舗装の国庫補助金を使った修繕工事が可能になったことから、できるだけ財源の優位な方法で整備に取り組んでいる。また、通常土木の予算については、平成27年度・28年度2千万円、平成29年度1千4百万円である。

答(井上町長) 道路管理については、各行政区からの要望に対応できるよう進めていきたい。

土地改良及び

基盤整備事業について

問 土師東部地区は、昭和56年頃より鉱害復旧工事及び基盤整備事業を同時に行って以来35年を経過し、農地の排水状態が悪化した。今後事業を再開したいが、支援できる方法があるか。

答(山本産業振興課長) 国や県の事業があり、受益面積や受益者負担等の実施要件を鑑みながら、個別に検討を行いたい。



# 12月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
承認第11号	平成29年度桂川町一般会計補正予算（専決第1号）	【承認】 全員賛成
承認第12号	平成29年度桂川町一般会計補正予算（専決第2号）	【承認】 全員賛成
議案第32号	定住自立圏の形成に係る議会の議決事件を定める条例の制定	【可決】 全員賛成
議案第33号	桂川町放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の制定	【可決】 全員賛成
議案第34号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	【可決】 全員賛成
議案第35号	平成29年度桂川町一般会計補正予算（第3号）	【可決】 賛成多数
議案第36号	平成29年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	【可決】 全員賛成
議案第37号	平成29年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	【可決】 全員賛成
議案第38号	平成29年度桂川町水道事業会計補正予算（第1号）	【可決】 全員賛成

## つづやき

### 柔道を通しての

### 子ども達の健全育成

柔道を通して、子ども達の心身の健やかな育成を目標に、約6年前に講道館柔道桂川「孜々の会・孜々道場」を桂川町内の柔道愛好家を集い設立しました。

今考えると、あつという間の6年間でしたが、子ども達は確実に人間としても選手としても成長し続けていると自負しています。

2020年に東京オリンピックが開催されますが、孜々道場からも将来のオリンピックピック代表選手が出て欲しいと、そんな願いも抱きながら私も子ども達と一緒に汗を流しています。

これからも柔道を通して子ども達の健全育成を続けて行きながら、桂川町を元気にすることに貢献できたらと考えています。

北原 裕丈

## つづやき

### 東峰村と朝倉市へ

昨年の7月17日、初めて災害ボランティアとして、九州北部豪雨被災地の東峰村小石原地区へ行きました。

家の床下や水路が泥で埋まり、スコップや一輪車で運び出す作業は暑さとの戦いでしたが、少しでも被災された方々の役に立ちたい…と思いました。

早いもので、豪雨被害から半年以上が経過しています。先日、あの時ボランティアで作業した東峰村小石原地区・宝珠山地区や朝倉市杷木地区に行ってきました。

最初に作業した店舗は営業されていましたが、被災した家屋は災害当時から変わっていませんでした。

日常生活は、徐々に回復しているようですが、まだ自宅で普通の生活が出来ない方も多くいらっしゃいます。再度、復旧・復興を願う一日になりました。

大塚 和佳